

事業所名

放課後等デイサービスみらい倉吉

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

14 日

法人（事業所）理念		私たちの子育て事業は「協同労働」という働き方で運営しています。協同労働は「命」「自然」「働く」「暮らす」をベースに「共に生き」「共に育ちあう」社会を目指します。 1.一人ひとりの子どもの違いや個性を尊重します。 2.子どもの持つ力を信じ、育てます。 3.子どもたちのはぐくむ自然、ひと、文化など豊かな社会関係をつくり出します。							
支援方針		自然や食、地域の文化、人と人の関係を大切に、豊かな「遊び」とともに創り出す。子どもの想いと自主性を中心に置き、子どもたちがゆったりとした時間とたっぷりした経験を持てる居場所作りに努め、子ども、親、地域との協同の関係づくりを広げる。子どもたちが安心して失敗できる場と関係性を創り、子どもたちのSOSをキャッチできるアンテナを高め、子ども、親の願いや困難に向き合います。							
営業時間		放課後	14 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
		長期休暇	9 時	0 分から	17 時	0 分まで			
支援内容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康的で安全な環境のなかで、一人一人の気持ちを受け止め、安心して過ごせるよう支援していきます。 身辺自立に向けて、生活に必要な基本的な習慣や態度を身につけていきます。(衣服の着脱・排せつ・手洗い・食事など) 一人ひとりに合わせた支援を行います。 イラストを用いた手順表を活用し、それを見ながらひとりでできることが増えるよう支援していきます。 農業体験、ネギ・さつま芋収穫の体験をします。自然に触れ合い、収穫を体験して実際に食べることで、食への興味を引き出す。おやつ作りにも活用し、食育への意識を高めていきます。 長期休暇の食事の提供をしています。(楽しい雰囲気ですぐに食事ができるようにする) 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 運動・音楽遊びを通して、健康を保ちながら体力向上を図ります。 日常生活を送るために必要な動作や日常に活用する力を身につけていきます。感覚遊び・運動遊びを通して、指の巧緻やバランス感覚、姿勢や動き・身体の動きを養います。(積み木やブロック・たんぐらむ・ボール遊び・縄跳び・リズム遊びなど) 感覚の偏りを整える支援を行います。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感情や行動を統制する力を育みます。(できたことの積み重ねにより、見通しを持つ力を育み、切り替える認識が持てるよう、スモールステップで支援していきます) カレンダーを活用して、曜日・週・月といった時間の感覚、日付の感覚を意識できるような活動をしています。 視覚的に理解しやすいよう、絵カードを使って活動を促しています。 お茶会を通して、日本の伝統文化に触れ、楽しみながら、おもてなしの心や(思いやりの心)礼儀作法を学んでいきます。(集中する力や座するという動作を学びます) 宿題の取り組みとして、学習環境を整え、学校から出された宿題のサポートをします。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 他者とのやりとりを通して、対話や会話をする力を育みます。(帰りの会を通して、気持ちを理解したり、伝えたりする方法を身につけます) 遊びや活動を通して、体験と言葉の結びつき(カードゲーム・連想ゲーム・しりとり)などの言葉遊びから、自分の考えを伝える力を伸ばし表出する支援を行います。 子どもの特性に応じたサポートを行い、その子に適した伝達手段の獲得を促します。(絵カード、身振り、発声、視線、表情) 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 施設交流・買い物・送迎時などの活動体験やSSTを取り入れながら、社会スキルを習得します。(挨拶・時間を守る・ルールや規則・交通ルール)の習得・協調性やコミュニケーション) 駄菓子屋を設置、おやつ時の購入を目的とし、お買い物を通じて、購入したい物を「選択する力」を養う。お金に関心を持ち、お金の大切さを学ぶ体験を通して、生活に役立つ力を育み、社会参加へと繋がる支援をしています。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノートを活用したり、送迎時に話し合ったりして、保護者の不安な気持ちを受け止め、信頼関係を築いていくとともに、必要に応じて対応していきます。 個別に必要な配慮について確認し、一人ひとりが安心して過ごせるよう話し合っています。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 高等部卒業後の就労に向けての準備として、学校や保護者、相談支援所と連携して、移行先には事業所での生活の様子などを伝え情報提供を円滑に行う。 就学移行支援会議での園や保護者からの様子をお聞きしながら、学校や相談支援所と連携し支援状況の共有を行っている。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 学校・関係機関と連携を図り、情報交換を密に行っていきます。 文化祭やお茶会、老人施設交流などを通して、親しみや理解が進むよう働きかけ、地域との関わりを深めています。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 内部研修…子育て研修(専門性含む)・(虐待防止・身体拘束研修) アンガーマネジメント研修 外部研修…SST研修 ミーティング(現場ミーティング毎日・全体ミーティング毎月) 		